

## 何とかならぬか？ マイクロソフト

### アドレス帳が片道切符

約1ヶ月前に、日常主として使うパソコンを Windows XP から Windows Vista に切り替えた。メールの処理などが格段に速くなり、おおむね快適に Vista を使っているが、中にはマイクロソフトの製品企画に首を傾げたくなる点もある。ここではその代表としてメール・クライアントとアドレス帳を取り上げる。

Windows XP のメール・クライアントは Outlook Express で、アドレス帳は Windows Address Book である。これに対し、Windows Vista では、メール・クライアントが Windows Mail に変わり、アドレス帳が Windows Contacts になった。Windows Mail にはスパム・フィルタの機能が追加され、また、Windows Contacts には顔写真が貼り付けられるなど、機能的には確かに前より充実している。しかし問題は、Windows Vista では従来の Outlook Express や Windows Address Book を使うことができず、また、新しい Windows Mail や Windows Contacts は Windows XP では使えないことだ。そして、従来の Windows Address Book を Windows Contacts に変換することはできるが、その逆はできない。

日常主として使うパソコンを Vista に切り替えたが、従来の XP のパソコンをバックアップとして引き続き使っている人も多いだろう。また、旅行先で使うノートパソコンは当面 XP のままにしている人もいるだろう。このように複数のパソコンで違うバージョンの OS を使うのは、古いハードで Vista を動かすことがメモリ容量などの点から困難なためもあるが、理由はそれだけではない。古いソフトには XP でしか動かないものもあり、また、障害切り分けのために古い OS やソフトを使えるようにしておきたいためもある。そして、作成したウェブページが各種ブラウザでちゃんと閲覧できることを確認するためにも古いシステムが必要になる。

こうして複数の OS を併用する際は、ワープロや表計算のデータ、アドレス帳やブックマークなど、個人用のファイルが OS やアプリケーション・ソフト間で共用できるか、または相互に変換できることが不可欠だ。しかし、XP と Vista の間では、他のファイルについてはこれができるが、アドレス帳についてはできない。これは不便極まりない。

### Windows Live Mail で問題がさらに複雑に

マイクロソフトは 2007 年 11 月に新しいメール・クライアントの Windows Live Mail と新しいアドレス帳の Windows Live Contacts をリリースした。これらのソフトは、通常の E メールだけでなくウェブメールやチャットなども統一的に扱えることが

売り物である。そして、これらのソフトは Vista だけでなく XP でも使える。そのため、これらが、メール・クライアントやアドレス帳について XP と Vista の橋渡しになるかという、そうはならない。Windows Live Mail では、アドレス帳として Windows Address Book や Windows Contacts を使えない。また、Outlook Express や Windows Mail では、Windows Live Contacts をアドレス帳として使えない。Windows Contacts と Windows Live Contacts の間で、手作業でデータを相互に変換することはできるようだが、この辺の事情が分かりにくいらしく、英語の掲示板には多数の質問が掲載されている。

### 何が原因なのか？

Outlook Express のマルチアカウントやテンプレートの機能不足の問題については別の誌面で指摘した。<sup>1)</sup> これらの問題は Windows Mail でも解決されていない。どうしてマイクロソフトにはこのように不便な製品が多いのだろうか？

一つには、2007 年現在、従業員が 7 万 9000 人と、組織が巨大になりすぎたことがあると思われる。そのため、統一された思想の下で製品開発を進めることが困難になったのだろう。日本には、「大男、総身に知恵が回りかね」ということわざがある。

そして、やはり「独占の弊害」もあるではなかろうか？ 製品の品質向上には市場での競争が重要な役割を果たす。事実上の無競争状態が長年続けば、ユーザーの声の反映がないがしろにされる恐れが大きい。

マイクロソフトの実質的な市場独占は、全世界での事実上の標準を確立して、IT の世界の進展に大きく貢献した。しかし、その独占は負の側面も持っているので、その弊害を最小限に抑えるような注意が常に必要である。

### アドレス帳の一本化に期待しよう

最後に一点、将来の明るい可能性について触れよう。Windows Contacts は vCard という標準規格のアドレス帳と相互にデータを変換できる。この vCard はアップルのパソコンでも使われ、また LDIF という標準規格との間でも相互にデータの変換ができる。そして、日本の宛名印刷ソフトの住所録にも、最近では vCard との変換機能を備えたものが現れている。このようにして、将来は、メール・クライアントや宛名印刷ソフトなどのアドレス帳、携帯電話や固定電話の電話帳などについて、おおもとのアドレス帳を一つ作れば、あとはそれをコピーすれば済む日が来ることが期待される。

1) 「悪い製品がよい製品を駆逐？」(オーム社 技術総合誌「OHM」2008 年 1 月号)

(<http://www.toskyworld.com/archive/2008/ar0801ohm.htm>)